

新しい肥満症治療薬の発表（MC4R 作動薬）

御利用者様および御家族様には、日頃大変お世話になっております。

肥満の治療薬と聞いて御興味が全くない方は少ないかと思います。楽にダイエットが出来るくらいなら、テレビでも雑誌でも「肥満」の特集なんてやっていません。肥満の治療は難しいに決まっています。

現在ある治療は、バリアトリック手術といって胃を切ったり縛ったりして食事量を減らす方法か、今年の春に国会でも問題にされた GLP-1 という糖尿病の治療薬くらいです。まず御食事量を減らすことが一番のダイエットですが、それが出来るくらいなら、小生も含め肥満が世界中の問題にはなりません。

2026 年 7 月のニューイングランドジャーナルに新しい肥満治療薬が発表されました。第 3 相の治験です。以前にも書かせていただきましたが、3 相の治験ということは発売が近いということです。

初めから難しい話になります。メラノコルチン 4 受容体(MC4R と略されます)という脳の視床下部にある受容体に対する作動薬です。作動薬とは受容体に働いて、神経伝達物質やホルモンなどと同様の機能を示す薬のことです。MC4R という受容体が活性化されると空腹が抑えられ、食欲が減少し体重が減ります。MC4R が減っている変異(異常)があると高度の肥満が起きます。MC4R の機能が増加している変異(異常)があると肥満になりません。だったらお薬で、MC4R という受容体を活性化させれば良いわけです。これが MC4R 作動薬です。今回の研究は視床下部の障害による高度の肥満患者様が対象です。視床下部は、脳下垂体の上、大脳の下面にある小さな部位です。カナダ、ドイツ、イギリス、オランダ、アメリカ合衆国、そして日本で治験が行われました。毎日皮下注射をして、1 年間の結果です。合計 120 名の患者様に対して治験を行っています。御年齢は 4 歳から 66 歳、平均 19.9 歳です。19 歳以上の方では BMI 41 と高度の肥満の方々です。BMI 40 というのは小生の身長なら体重 120Kg です。原因となった御病気は、頭蓋咽頭腫という脳腫瘍が 78%、その他の脳腫瘍が 16%、残りの 6%は、血管腫などの脳腫瘍に分類されない御病気でした。

結果は 1 年間の治療で BMI が平均で 16.5%減少しました。偽薬(プラセボ)の方は 3.3%増加なさっています。治験に参加なさるくらいの方ですからダイエットもしっかりなさったと思いますが、偽薬の方は太ってしまいました。これは普通にダイエットしていても、こういう御病気の方は太ってしまうということです。この研究では「空腹感スコア」という調査も行っています。治療薬の方のスコアは-2.73、偽薬では-1.45。MC4R 作動薬を使用した患者様の方が空腹感のスコアが減っています。つまり空腹感が少なかったということです。お腹が空いて食べ物を漁ることがない、無理がない減量だったということです。

副作用はほぼ全例にみられています。多かったのは、色素沈着(56%)、吐き気(51%)、嘔吐(40%)、頭痛(38%)、下痢(23%)でした。色素沈着というのは要するに日焼けのようなものです。メラニン細胞を刺激するホルモン(ペプチド)に近い働きがあるため、日焼けのような色素沈着が多くみられました。これは当然予想されることです。でもこれは治験としては問題です。色素沈着があるかどうかで、使用している薬剤が本物か偽薬(プラセボ)か、治験の最中に見ただけで分かってしまうからです。

もう一つ大きな副作用が見られました。視床下部腫瘍の患者様は、「尿崩症」と言って、たくさん水分を取らないと脱水になってしまう患者様もいらっしゃいます。尿崩症を合併なさっている方で、この薬剤の

副作用のために吐き気が見られ、十分な水分摂取が出来ず脱水になり御入院なさった方がいらっしゃいました。これは御命にかかわります。

以上、今回の MC4R 作動薬という新しい肥満治療薬は大成功です。勿論、今回の研究はあくまでも、「後天性の視床下部障害による高度肥満」という比較的まれな御病気に対してです。決して「やせ薬」ではありません。この点は、はっきり書かせていただきます。でも、やせ薬のために毎日御自分で皮下注射をなさるほど御熱心な方がいらっしゃると思えませんが。

今後とも 老健施設はみんぐ を宜しく願い申し上げます。

2026 年 8 月 2 日 かめたに ひろし